

# ちょぼら

みんなで楽しく気軽にちょっとずつのボランティア

vol.50

URL <http://www.tachi-shakyo.or.jp>



## 中学生も活躍！

大刀洗中学校の生徒がドリームまつりに積極的に参加、まつりを大いに盛り上げました。



## 01-フォトギャラリー

中学生がドリームまつりを盛り上げました

## 03-ボランティア入門講座報告

「出会いは宝！  
自分を豊かにするボランティア」

## 02-特集 中学生ボランティアも大活躍！

## 04-ボランティア表彰

ちょぼらな話題「私でよかったら」

# 特集

## 中学生ボランティアも大活躍！

～地域の人たちと一緒に夏まつりを盛り上げました～

大刀洗中学校では、地域の行事等へ積極的に参加し、地域の一員としての自覚や自尊感情を育み、自分の良さに気づくことを目的として『地域おこし協力隊 Jr』の名前で中学生のボランティア活動への参加を推進しています。

今年も各校区の夏まつりに多くの中学生が参加し、地域の人たちと一緒に盛り上げていました。各校区の活動と主催者側の思いをご紹介します。

大堰  
8/3(土)  
参加:5名



憩いの園大堰交流センター長 山本 浩

保育園の頃から大堰の中で育ってきた子どもたちはコミュニティスクールが始まる前から夏まつりに参加しています。今回依頼した時間外にも自主的に手伝いをし、地域での活動を通して「裏方にまわる」「大人に交じって活動する」ことが子どもたちにとっていい経験になると思います。そのような経験を積極的に積んで「生きる力」に役立ててほしいと願っています。



大刀洗  
7/27(土)  
参加:13名



大刀洗校区育成会会長 堀内 弘樹

当日は、猛暑で熱中症を心配しましたが、中学生には、会場準備からまつり本番、翌朝の片付けまで参加してもらいました。

翌朝の片付けやゴミ拾いは、それらを経験することでゴミを散らかさなくなる、「経験させる」ことを大事にしたいと考えているからです。子どもたちには、地域の大人たちと関わることで、自分で色々学んでほしいと思います。そして、そういう場を私たちも作っていきたいと思っています。



本郷  
8/31(土)  
参加:11名



ふれあいセンター長 井上 聖基

今回は、ステージスタッフや写真・動画撮影、受付・店舗の手伝いを担当してもらいました。当日は、各担当者から説明を受けて活動開始、多くの人出の中でがんばっていました。抽選会が始まる前にステージ前で自己紹介をして、地域の皆さんに中学生ボランティアの参加を披露しました。

今年は参加した中学生の半分以上が小学生時代アンビシャス広場に來ていた子どもたちでした。それぞれ成長して大人びた顔になっていて懐かしうれしく思いました。

菊池  
8/3(土)  
参加:14名



実行委員会役員 永富 昌則

今回で8回目の菊池校区夏まつり。中学生ボランティアは第1回目から深く関わってきました。大刀洗公園の広い野外ステージをアニメのキャラクターや風船等にぎやかに飾り付け、皆さんから喜んでいただき自信につながったようです。また、中学生専用の工夫を凝らした夜店も出店。今では、菊池の夏まつりに中学生ボランティアは欠かせない存在となっています。

中学生には、こうしたボランティア活動を通して、お互いに協力し合うことの大切さを学んでもらい、将来の自立に向けての第1歩になったのではと思います。



# 出会いは宝！自分を豊かにするボランティア

～人と出会う・地域とつながる・心イキイキ～



講師  
NPO法人ミディエイド  
理事 濱中 美紀 氏

中学生も一緒に

## ボランティアはまちを想う大切な存在

ボランティアセンター運営委員 平田 康雄

令和元年9月7日。ドリームセンターにてボランティア入門講座を開催しました。108名の皆さんが参加、大刀洗中学校社会部の生徒さん5名のボランティアも一緒にお話を聞きました。

NPO法人ミディエイド理事の濱中美紀氏を講師として迎え「出会いは宝！自分を豊かにするボランティア」というテーマでご講演いただきました。

講演の内容は、

○百人いれば百の想いがあるが、大切なのは一人ひとりの想いである。

○「こうしたらいいな」とか「こうだったらいいな」と願う人がいるから課題もできるし、取り組みも出てくる。

○やろうと思ったときが始めるとき。重要なのは参加すること。

○ボランティアはまちを想う大切な存在。活動した者にしか得ることができない宝がある。

○小さな想いを大きな波にすることが必要。

等々、心に響くお話を伺いました。

「どうすれば良いか考え、行動に移す」という講師の話聞き、ボランティアは身近なものだと捉えることができました。

### ●参加者アンケートより●

- ・大切なのはストーリー、小さな波を大きな波に
- ・思いを持ったら動く、思いや気づきが元になる
- ・（ボランティアは）思いを形にする一つの手段であること
- ・体を動かすことで長寿命・健康につながる
- ・参加型講座、とてもよかった、おしゃべり・記録・カードを使った意思表示など、内容がとても有意義だったと思う

# ボランティア3団体が表彰を受けました

長年にわたる活発なボランティア活動が地域福祉の充実に貢献されたことに対して贈られました。各代表に喜びの声をお聞きしました。

## 福岡県知事表彰 【団体：7年以上】

**いきいき幸せ大刀洗の会  
ひと花咲かせ隊**  
(花植えボランティア)  
代表：實藤 俊彦 さん

「汚いところに犯罪は起きる、だから花を植えよう」と始まった活動。何かをさせてもらって自分が元気をもらい、植物も人の愛情に応えてくれる素晴らしい相乗効果。だから「ひと花咲かせ隊」は最高の名前です。そして、私たちのメンバーはひとり一人が思いやりの塊。人のために動く最高のチームです。植物を介してみんながいい気分になれるこの活動を次の世代にも伝え続けていきたいと思っています。



## 大刀洗町社会功労者表彰 【団体：20年以上】

**配食ボランティア青い鳥**  
(高齢者等への配食活動)  
代表：深水 定子 さん  
安河内征二 さん



4校区を代表して表彰状をいただきました。20年間、お年寄りや障がいのある人にお弁当を届けてきました。「待ってられる」と思うと多少の雨風でも配達しなければなりません。配達をしつつさりげなく見守っています。「美味しかった」「いつもありがとう」と言われるとまたがんばろうと思います。仲間にも恵まれ人の和を大事にしながら、これからも楽しくがんばっていきます。

## 大刀洗町社会福祉協議会 社会福祉事業功労者表彰 【団体：10年以上】

**矢車草**  
(車椅子レクダンス)  
代表：庄島 美智子 さん

10年間続けることができ良かったと思います。障がいをお持ちの方やご高齢の方とふれあい、喜んでいただけることが嬉しく、「また来てくださいね」という言葉が励みです。活動を続けるためには“仲間づくり”が1番大切。活動以外にも、花見・忘年会・新年会など気軽に集まり楽しんでいきます。車椅子は介護の道具と思っていましたが、この活動に出会い、車椅子がダンスを楽しむ道具にもなることに感銘を受けました。



## ちょぼらな話題

### 「私でよかったら」

縫物ボランティア 辻 啓子さん

私が聖ヨゼフ園でボランティアを始めたきっかけは、この情報誌「ちょぼら」だったと思います。何か私にもできることはないかな？と思っている時に縫物ボランティア募集という記事を見つけ始めました。それから早いもので1年半くらいが過ぎました。月に2回程しか行けませんが、毎回楽しく、スタッフの方たちとおしゃべりしながら入所者の方の洋服などに名札をつけています。たったそれだけのことなのに、喜んでもらえるので、私は大変うれしい気持ちで一杯になっています。



## 後記

秋もあっという間に過ぎ去ったようです。でもこの間に、日本各地では大雨による災害で大変な思いをしている人がたくさんいます。いつどこで起こるか分からない災害。日頃からの備えが大切です。Momo



スマイル



代表 福村宮生  
福村千代美  
田島孝三  
宮崎誠美  
秋山裕美